

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	看護研究演習	1	30	2年次	4月	黒木智鶴 沼田裕美
授業概要 看護実践の基礎となる科学的な知識体系を発展させるための基礎的知識を理解し、看護研究方法の実際を学ぶ。						
科目目標 看護における研究の意義とその必要映、看護研究の種類と方法を理解できる。看護研究を分析的に読むための知識・技術を学び、看護研究を科学的な視野で評価し活用できる能力を養う。文献検索の方法、研究計画書の作成、論文の構成・書きかたを理解し、研究のプロセスに沿って研究を行うことができる。						
使用教材 テキスト：①ひとりで学べる看護研究，照林社 適宜資料を配布する。 参考文献：黒田裕子の看護研究 Step by Step，医学書院 看護における研究，日本看護協会出版会，看護学のための多変量解析入門，医学書院						
評価 研究論文作成（グループ研究） 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	1. 看護研究の意義、必要性 1)看護研究の目的・効果 2)価値から研究的姿勢 2. 看護研究の種類と方法 1)研究の種類 文研研究、調査研究、疫学研究、実験研究、事例研究 2)研究の性質 質的研究方法、量的研究方法					講義 テキスト①
6時間・3回	3. 看護研究のプロセス 1)文献検索 文献検索の実際、文献カードの作成 2)リサーチクエスチョン 3)研究計画書の作成 研究計画書の要素 4)倫理的配慮 看護研究の指針となる倫理の原則 研究プロセスで求められる倫理的配慮 研究の同意書に含む内容 4. クリティーク 1)クリティークの目的、方法 2)クリティークの実際					講義 演習 テキスト①
4時間2回	5. データの種類とデータ収集方法 1)観察法（参加観察法、非参加観察法） 2)質問紙法（郵送法、留置法、集合法） 3)面接法（構造的面接法、半構造的面接法、非構造的面接法） 6. データの分析方法 1)検定の考え方 2)仮説、帰無仮説の考え方					講義 テキスト①

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	看護研究演習	1	30	2年次	4月	黒木智鶴 沼田裕美
時間・回数	授業内容					方法
1時間・1回	7.研究論文の書きかた					講義 テキスト①
6時間・3回	8. 統計学的方法によるデータの処理 (Excelの基本的操作方法を含む) 1)データ処理の考え方・方法(量的データ) ①集計表を作る ②グラフを作る 2) 看護研究で使う基本的な統計法と結果の見かた、読みかた 単純集計, 相関関係, t検定, 回帰分析 9. 研究結果を伝えるためのプレゼンテーション←プレゼンテーションの方法 1) 発表スライドの作り方 2) 発表するポスターの作り方					講義 演習 テキスト①
4時間・2回	10. 研究の実際 グループ研究					演習 テキスト①
4時間・2回	11. 研究発表					演習
1時間・1回	筆記試験					
備考 ○統計学的方法や研究計画書はじめ論文作成など文章を書く機会においては、1年次履修科目「情報科学」「文学」で学んだことを活用する。 ○論文作成やプレゼンテーションを通して、3年次の事例研究、卒業後の看護研究へとつなげていくプロセスを学ぶ。						